

東広島市

令和8年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

調査実施期日

令和8年4月23日（木）

対象及び教科

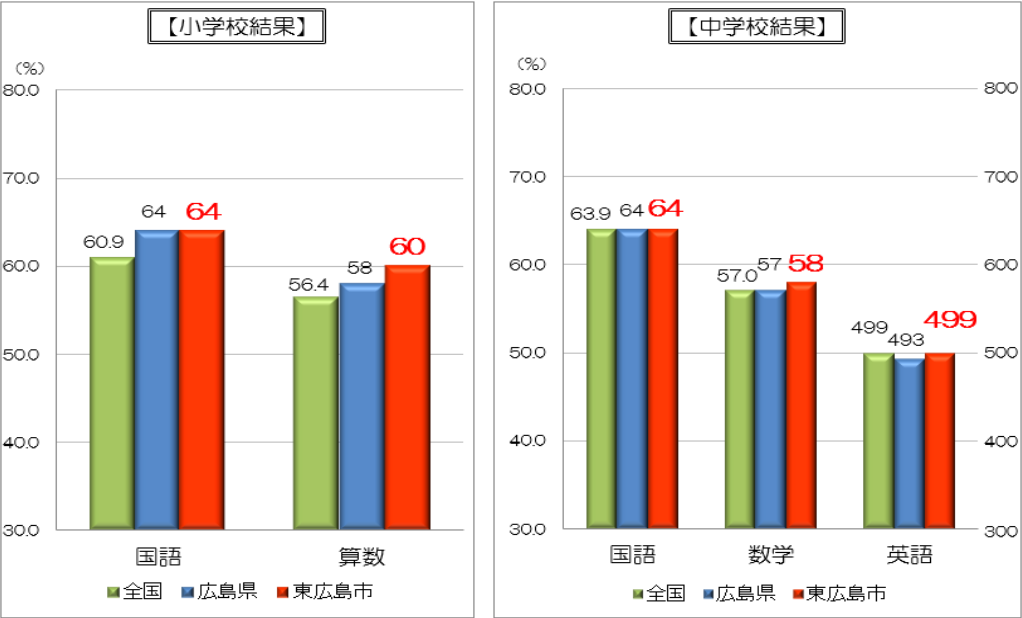
小学校 6 学年全児童 国語、算数
中学校 3 学年全生徒 国語、数学、英語

教科に関する調査の結果

（小学校結果及び中学校国語、数学は平均正答率 中学校英語は平均 I R T スコア）

校種	教科	東広島市	広島県（公立）	全国（公立）
小学校	国語	64	64	60.9
	算数	60	58	56.4
中学校	国語	64	64	63.9
	数学	58	57	57.0
	英語	499	493	499

- 小学校では、国語は広島県と同程度、全国の平均正答率を上回った。算数は広島県及び全国の前平均正答率を上回った。
- 中学校では、国語は広島県及び全国の前平均正答率と同程度であった。数学は広島県及び全国の前平均正答率を上回った。英語は平均 I R T スコアにおいて、広島県を上回り、全国の前平均と同程度であった。



※平均 I R T スコアとは、項目反応理論に基づき、問題の難易度を踏まえて算出した値です。

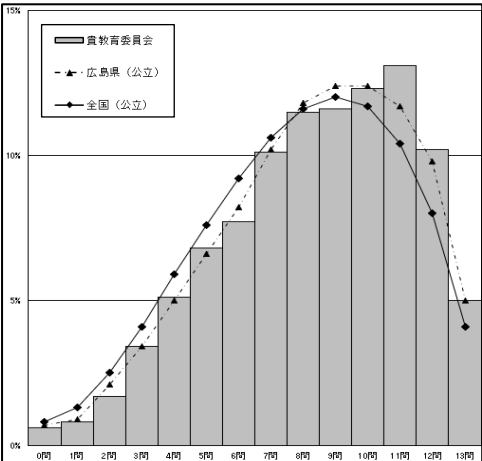
教科に関する調査結果

1 小学校 国語

結果の概要

全国の平均正答率が64％で、広島県平均と同程度、全国平均を上回っている。内容別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は広島県よりも低い。
その他の内容は全国及び広島県よりも高い。

＜正答率分布グラフ＞



＜内容別平均正答率＞

学習指導要領の内容	平均正答率（％）		
	東広島市	広島県	全国
全体	64	64	60.9
言葉の特徴や使い方に関する事項	68.4	70.2	66.8
情報の扱い方に関する事項	57.2	54.9	52.3
我が国の言語文化に関する事項			
A 話すこと・聞くこと	69.0	67.8	65.8
B 書くこと	51.8	48.3	45.7
C 読むこと	69.5	69.0	65.9

正答率下位2問

I 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題

（設問 2三（イ）） 37.8％（全国45.2％、県48.8％）

II 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題

（設問 2四） 41.9％（全国33.5％、県37.0％）

授業改善のための方策

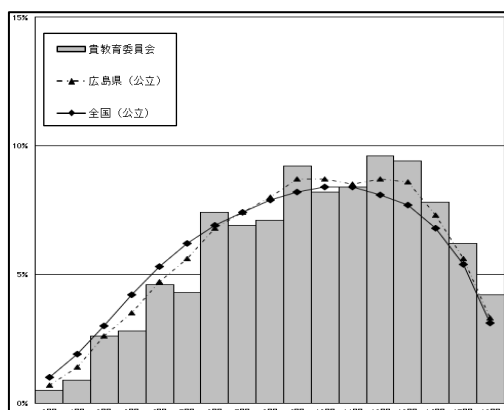
- 文や文章の中で漢字を正しく使うことについては、文や文章を書く際に、同音異義語に注意するなど、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くようにすることが重要である。同音意義語の語句や漢字を調べ、その意味を比べる活動を通して、字義の理解や漢字を使うことのよさを実感できるようにするなどの指導を行う。
- 引用して、自分の考えが伝わるように書き方を工夫するためには、引用する目的を明確にしたり引用することの意義を確かめたりした上で、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書くことが重要である。引用して書いている文章と引用して書いていない文章を読み比べ、どちらの文章が説得力があるか、どちらの文章が自分の考えを相手に明確に伝えることができるかなどについて理由を含めて話し合う活動を設定する。

2 小学校 算数

結果の概要

全体の平均正答率は60％で、全国平均及び広島県平均を上回っている。内容別では、全ての領域で、全国及び広島県よりも高い。

<正答率分布グラフ>



<領域別平均正答率>

学習指導要領の領域	平均正答率 (%)		
	東広島市	広島県	全国
全体	60	58	56.4
A 数と計算	64.2	62.8	61.1
B 図形	60.8	57.9	55.3
C 測定	81.0	77.6	78.1
C 変化と関係	42.9	41.9	41.1
D データの活用	54.1	51.1	48.6

正答率下位2問

I 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる問題

(設問 4 (3)) 19.6％ (全国17.9％、県17.7％)

II 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる問題

(設問 2 (4)) 35.9％ (全国34.2％、県34.4％)

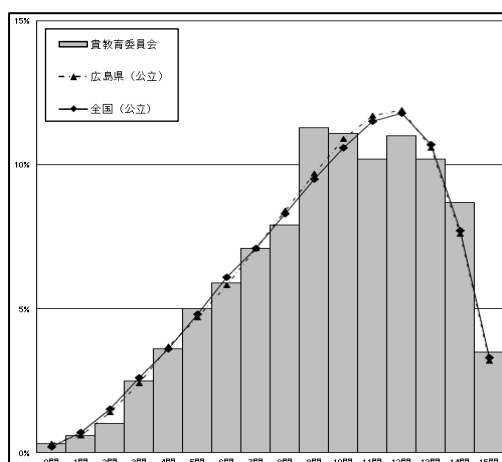
授業改善のための方策

- 目的に応じて二次元表を作成したり、必要な情報を読み取ったりする活動を取り入れる。その際、行や列の合計の意味について考えさせるとともに、児童が作成した二次元表について、表中の数値が何を表しているのかを丸や矢印などを書き加えながら説明し合う活動を設定する。さらに、「どの数値に着目したのか」「どのように読み取ったのか」を振り返らせることで、根拠をもって表を読み取るように指導する。
- 問題場面から基準量、比較量、割合の関係を捉える活動を取り入れる。その際、「どちらの長さが長いのか」「どちらをもとにして比べているのか」を問うことで、基準量と比較量の関係を捉えさせる。また、小数倍の理解を深めるために、図や数直線に目盛りを書き加えながら、基準となる長さの何倍に当たるのかを考えさせる活動を設定し、割合の意味を視覚的に理解できるよう指導する。

結果の概要

全体の平均正答率は64％で、全国平均及び広島県平均と同程度である。「話すこと・聞くこと」は全国及び広島県よりも高い。その他の内容は全国及び広島県と同程度である。

<正答率分布グラフ>



<内容別平均正答率>

学習指導要領の内容	平均正答率（％）		
	東広島市	広島県	全国
全体	64	64	63.9
言葉の特徴や使い方に関する事項	62.4	62.1	63.0
情報の扱い方に関する事項	70.6	70.4	70.4
我が国の言語文化に関する事項			
A 話すこと・聞くこと	65.7	64.2	63.9
B 書くこと	68.0	68.1	67.4
C 読むこと	59.7	61.1	59.7

正答率下位2問

※下位2問とも「言葉の特徴や使い方に関する事項」であるため、3問取り上げている。

- I ・語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる問題（設問 4（二））35.6％（全国35.2％、県36.4％）
- ・文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題（設問 3（一））40.4％（全国39.8％、県39.1％）
- II 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる問題（設問 4（四））40.5％（全国38.9％、県42.0％）

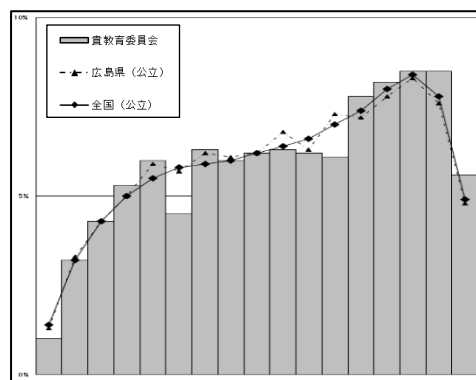
授業改善のための方策

- 文脈に即して正しく漢字や語句を扱うことについては、既習の語句について、それぞれの意味を類義関係や対義関係から改めて理解し、文脈による意味や語感の違いに気付かせることが大切である。漢字のもつ意味や前後の文脈を手掛かりに語句を選ぶ根拠を考えさせるとともに、短文作成や自分の考えを表現する活動を通して、語句を適切に活用できるよう指導する。
- 自分の考えを確かなものにすることについては、理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠に触れたりしながら、考えを形成し深めていくことが大切である。文章をどのように捉え、解釈したのかを確かめながら考えを形成するよう指導する。また、読書を通して知識や情報を得るとともに、多様なものの見方や考え方に触れ、自らの考えを広げたり深めたりできる活動を取り入れる。

結果の概要

全体の平均正答率は58%で、全国平均及び広島県平均を上回っている。領域別では、「A 数と式」と「B 図形」は全国よりも低い、その他の内容は全国及び広島県よりも高い。

<正答率分布グラフ>



<領域別平均正答率>

学習指導要領の領域	平均正答率（％）		
	東広島市	広島県	全国
全体	58	57	57.0
A 数と式	67.5	68.1	67.8
B 図形	48.1	47.8	48.7
C 関数	57.3	54.7	54.8
D データの活用	56.3	52.9	53.5

正答率下位2問

I 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題

（設問 7（2）） 36.6%（全国33.9%、県36.0%）

II データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる問題

（設問 9（3）） 36.6%（全国31.9%、県32.7%）

授業改善のための方策

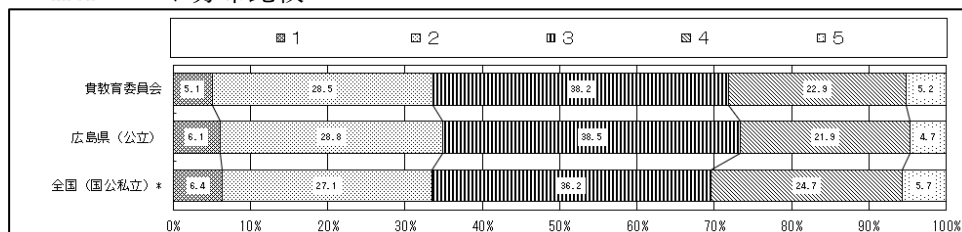
- 日常の事象を関数として捉え、表・式・グラフを相互に関連付けて問題を解決する学習活動を設定する。その際、求め方を説明する場面では、「直線のグラフを延長し、 $y=1000$ に対応する x 座標を読む」など、「何をを用いるか」と「どのように用いるか」を明確にし、答えだけでなく解決の方法を数学的に表現できるよう指導する。
- 複数のデータの分布を比較し、グラフの特徴を根拠として結論を説明する学習活動を設定する。その際、度数分布多角形の「形」と「位置」に着目させ、「二つのグラフは同じような形で、23時以降の生徒のグラフの方が左側にあるため、睡眠時間が短い傾向にある」のように、比較対象、共通点・相違点、結論を関連付けて説明できるよう指導する。

6 中学校 英語

結果の概要

全体の平均 I R T スコアが 4 9 9 で、広島県平均を上回っている。I R T バンド 4、5 の割合は、広島県より高く全国より低い、1、2 の割合は、広島県よりも低く、全国より高い。

<IRT バンド分布比較>



<平均 IRT スコア>

東広島市	499
広島県	493
全国	499

※ I R T スコア…問題の難易度、正誤状況等から推定された数値 5 0 0 を基準として示される。

※ I R T バンド…各生徒に対して出題された問題の正誤状況に基づき、総合的に推定された学力の状況を 1 ～ 5 の 5 段階に区切ったもの。3 を基準とし、5 が最も高い段階。

正答率下位 2 問

I（設問 1 8）日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる問題 「話すこと [発表]」

正答率 1 8 . 1 %（全国 2 1 . 5 %、県 2 1 . 0 %）

II（設問 1 4）日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題 「書くこと」

正答率 2 9 . 4 %（全国 2 7 . 8 %、県 2 6 . 0 %）

授業改善のための方策

- 「話すこと [やり取り]」の活動を充実させ、「自分の考えとその理由を話す」、「体験したこととその感想を話す」など、2 ～ 3 文程度で話す活動をくり返すことで、「話すこと [発表]」につなげる指導を行う。一度話した後で、ペアやグループでよりよい内容や表現について振り返らせたり、ALT の話をモデルとして聞かせたりした後、再度話す活動を行い、徐々に話す内容を増やしていくようにする。
- 日常的な話題について、まとまりのある文章を書く力を高めるために、4 技能 5 領域を関連付けた指導を継続的に行う。まとまりのある文章を読んで構成や文と文のつながりを捉える活動や、テーマに関する内容をキーワードでメモに整理する活動、メモを基にペアでやり取りし、友達の考えや表現に触れる活動等と書く活動を意図的に組み合わせ、自分の考えを明確にしてから書くことができるようにする。また、接続詞や代名詞を用いて文と文のつながりを意識させ、まずは 3 文程度の文章を書く活動を繰り返すとともに、文の順序や相互のつながりに着目して推敲させ、一貫性のある文章を書く力を段階的に育成する。

7 質問調査

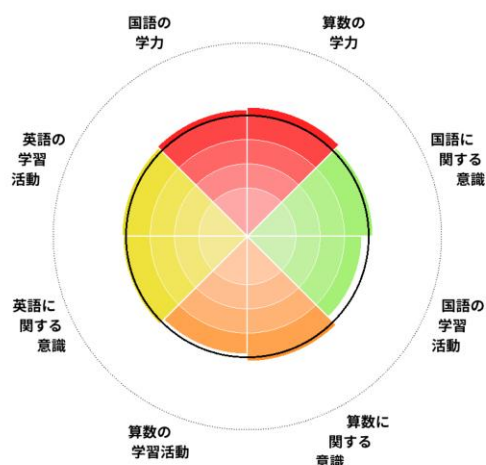
結果の概要

○小学校、中学校ともに概ねバランスがとれている。

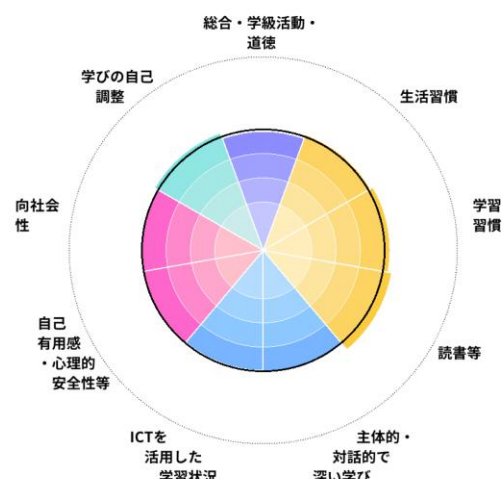
- ・小学校については、学力を支える基盤となる、「読書等」や自らの学習の進め方を振り返り、調整しながら学ぶ力を示す「学びの自己調整」が高い傾向に見られる。
- ・中学校についても、小学校と同様に、「読書等」や「学びの自己調整」の項目が高く、加えて「生活習慣」や「向社会性」のスコアが高い。

小学校

〔教科を中心とした学力・学習状況〕
(全国基準)

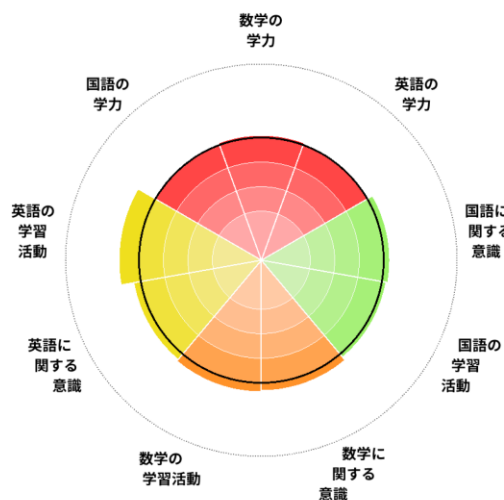


〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕
(全国基準)

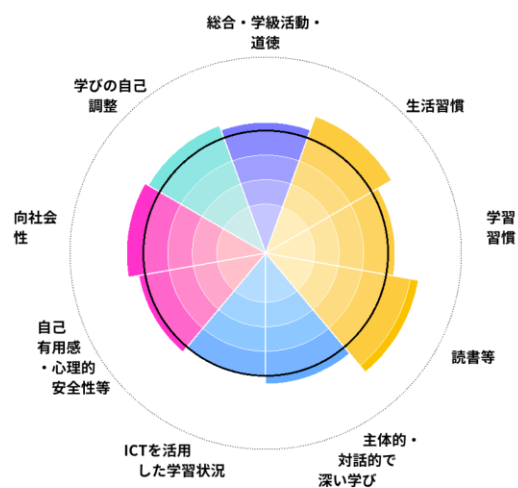


中学校

〔教科を中心とした学力・学習状況〕
(全国基準)



〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕
(全国基準)



授業について

○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の状況

- 主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び及び協働的な学びに取り組んだと考える児童生徒の割合は、全国平均及び広島県平均より高い。
- 主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率が高い。
- 個別最適な学びになっていると感じていたり、協働的な学びに取り組んだと考えたりしている児童生徒ほど、各教科の正答率が高い傾向であると言える。

主体的・対話的で深い学び

児童生徒質問 5年生までに（１、２年生のときに）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

小学校

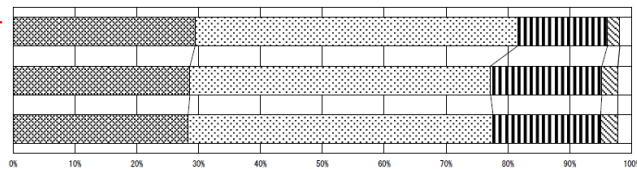
「当てはまる」29.4%（全国比+1.1pt 広島県比+0.8pt）

肯定的回答 81.5%（全国比+3.9pt 広島県比+4.3pt）

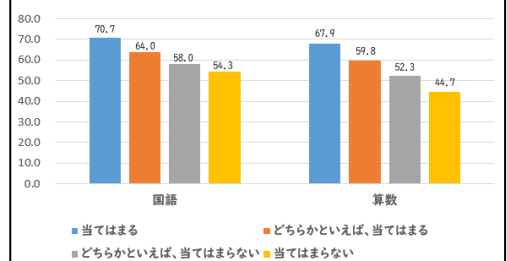
東広島市

広島県

全国



各教科の正答率との関係（クロス集計）



中学校

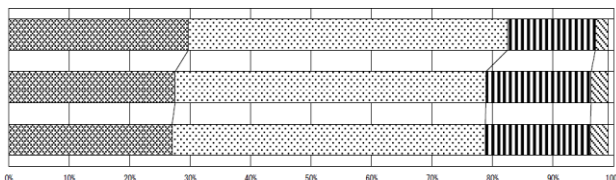
「当てはまる」29.7%（全国比+2.7pt 広島県比+2.2pt）

肯定的回答 82.5%（全国比+3.7pt 広島県比+3.6pt）

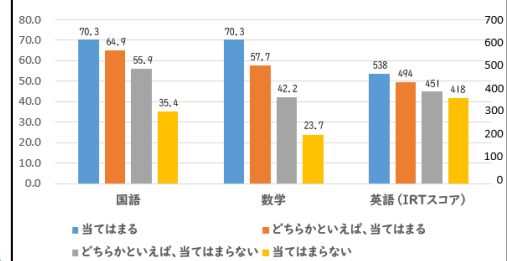
東広島市

広島県

全国



各教科の正答率との関係（クロス集計）



個別最適な学び

児童生徒質問 5年生までに（１、２年生のときに）受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

小学校

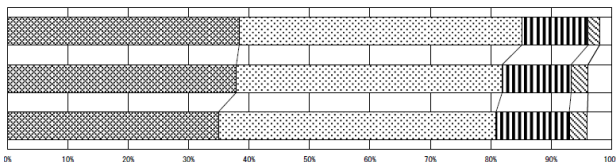
「当てはまる」38.4%（全国比+3.5pt 広島県比+0.5pt）

肯定的回答 85.2%（全国比+4.4pt 広島県比+3.3pt）

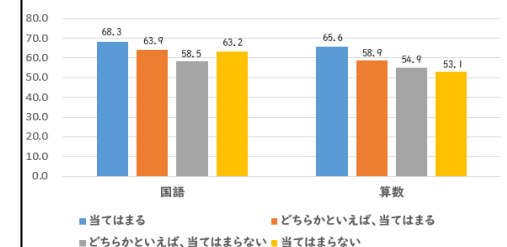
東広島市

広島県

全国



各教科の正答率との関係（クロス集計）



中学校

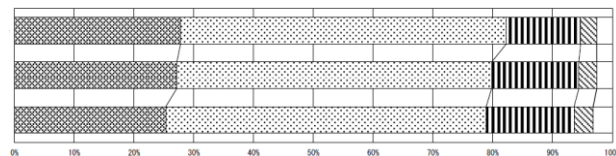
「当てはまる」27.8%（全国比+2.5pt 広島県比+0.6pt）

肯定的回答 82.3%（全国比+3.4pt 広島県比+2.4pt）

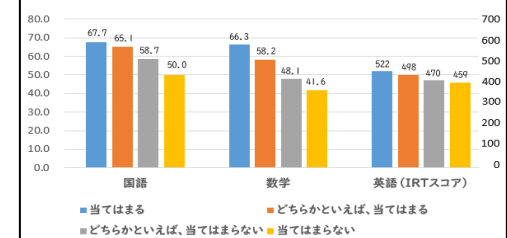
東広島市

広島県

全国



各教科の正答率との関係（クロス集計）



協働的な学び

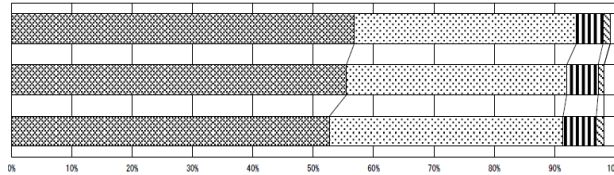
児童生徒質問 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

小学校

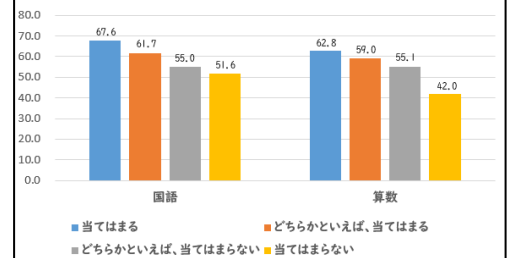
「当てはまる」 56.8% (全国比+4.1pt 広島県比+1.3pt)

肯定的回答 93.6% (全国比+2.2pt 広島県比+1.6pt)

東広島市
広島県
全国



各教科の正答率との関係(クロス集計)

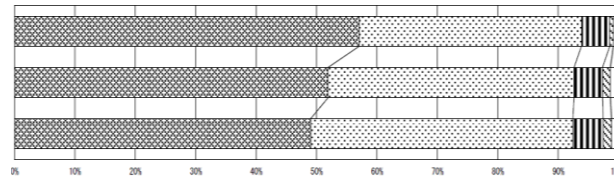


中学校

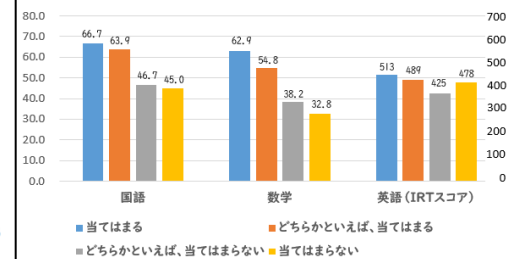
「当てはまる」 57.1% (全国比+8.1pt 広島県比+5.2pt)

肯定的回答 93.9% (全国比+1.5pt 広島県比+1.3pt)

東広島市
広島県
全国



各教科の正答率との関係(クロス集計)



学習習慣について

○読書の時間や勉強時間の状況

○一日の読書時間が1時間以上の児童生徒の割合は、全国平均及び広島県平均より高いが、東広島市の経年変化でみると減少している。

○授業を除く平日及び休みの日の勉強時間が2時間以上の児童生徒の割合は、小学校は全国平均及び広島県平均より高い。中学校は、全国平均及び広島県平均よりも低い数値となっている。しかし、小中学校ともに、東広島市の経年変化でみると減少している。

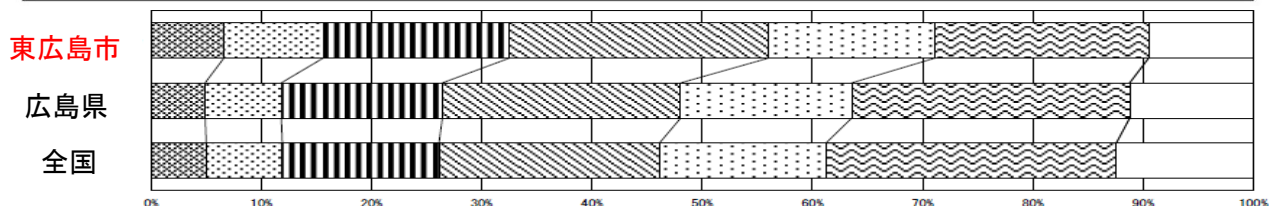
一日の読書時間（教科書等は除く）

児童生徒質問 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

小学校

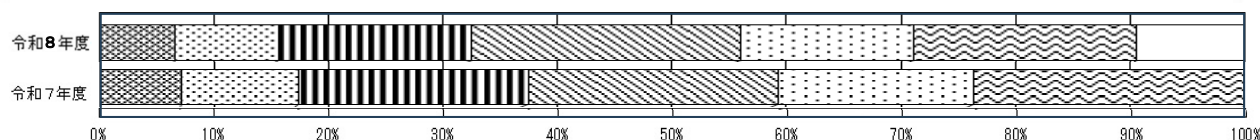
1時間以上 15.6%（全国比+3.7pt 広島県比+3.8pt） 10分未満 34.5%（全国比-6.9pt 広島県比-6.2pt）

■1. 2時間以上 ■2. 1時間以上、2時間より少ない ■3. 30分以上、1時間より少ない ■4. 10分以上、30分より少ない ■5. 10分より少ない ■6. 全くしない ■その他 □無回答



＜経年変化＞ 1時間以上 15.6%（令和7年度 -1.7pt） 10分未満 34.5%（令和7年度 -6.2pt）

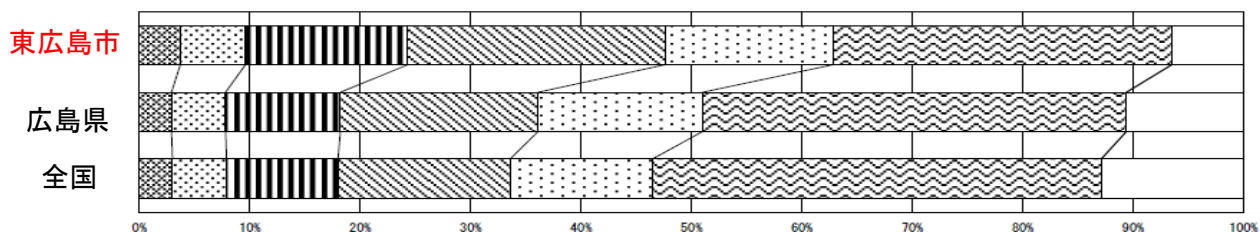
■1. 2時間以上 ■2. 1時間以上、2時間より少ない ■3. 30分以上、1時間より少ない ■4. 10分以上、30分より少ない ■5. 10分より少ない ■6. 全くしない ■その他 □無回答



中学校

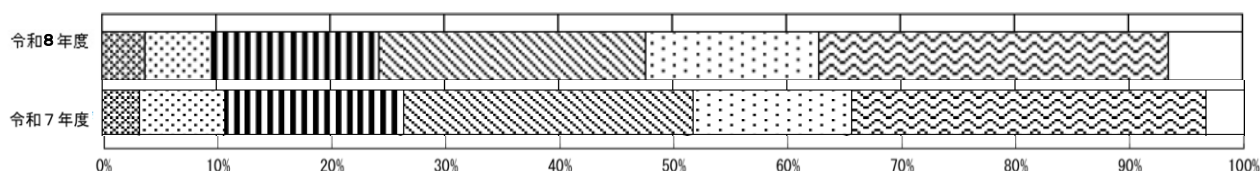
1時間以上 9.6%（全国比 +1.7pt 広島県比 +1.8pt） 10分未満 45.9%（全国比-7.7pt 広島県比-7.4pt）

■1. 2時間以上 ■2. 1時間以上、2時間より少ない ■3. 30分以上、1時間より少ない ■4. 10分以上、30分より少ない ■5. 10分より少ない ■6. 全くしない ■その他 □無回答



＜経年変化＞ 1時間以上 9.6%（令和7年度 -1.1pt） 10分未満 45.9%（令和7年度 +1.0pt）

■1. 2時間以上 ■2. 1時間以上、2時間より少ない ■3. 30分以上、1時間より少ない ■4. 10分以上、30分より少ない ■5. 10分より少ない ■6. 全くしない ■その他 □無回答



平日の勉強時間（授業を除く）

児童生徒質問

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校

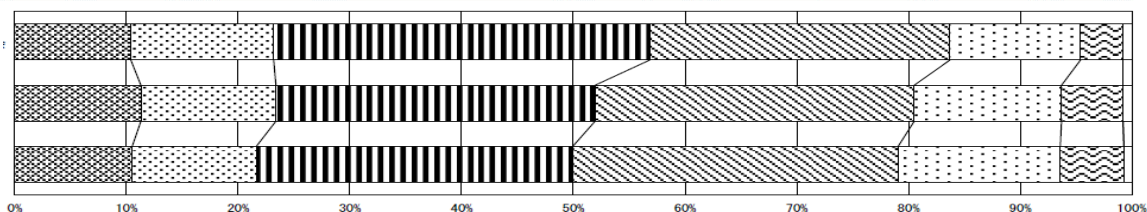
2時間以上 23.2%（全国比+1.6pt 広島県比-0.2pt） 30分未満 15.5%（全国比-4.7pt 広島県比-3.2pt）

■1.3時間以上 ■2.2時間以上、3時間より少ない ■3.1時間以上、2時間より少ない ■4.30分以上、1時間より少ない ■5.30分より少ない ■6.全くしない □その他 □無回答

東広島市

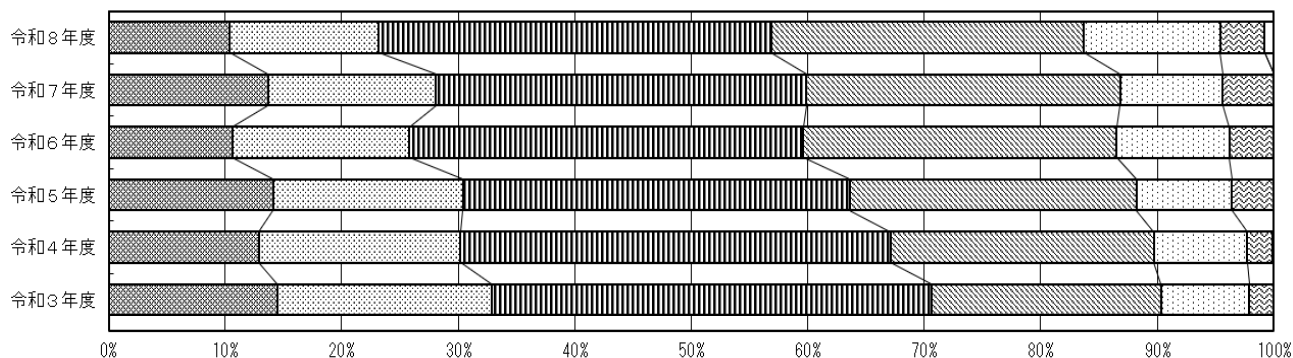
広島県

全国



<経年変化> 2時間以上 23.2%（令和3年度 -9.7pt） 30分未満 15.5%（令和3年度 +5.8pt）

■1.3時間以上 ■2.2時間以上、3時間より少ない ■3.1時間以上、2時間より少ない ■4.30分以上、1時間より少ない ■5.30分より少ない ■6.全くしない □その他 □無回答



中学校

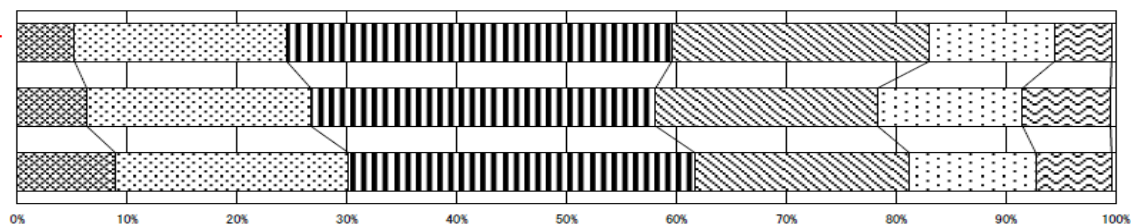
2時間以上 24.5%（全国比-5.6pt 広島県比-2.2pt） 30分未満 16.6%（全国比-1.8pt 広島県比-4.6pt）

■1.3時間以上 ■2.2時間以上、3時間より少ない ■3.1時間以上、2時間より少ない ■4.30分以上、1時間より少ない ■5.30分より少ない ■6.全くしない □その他 □無回答

東広島市

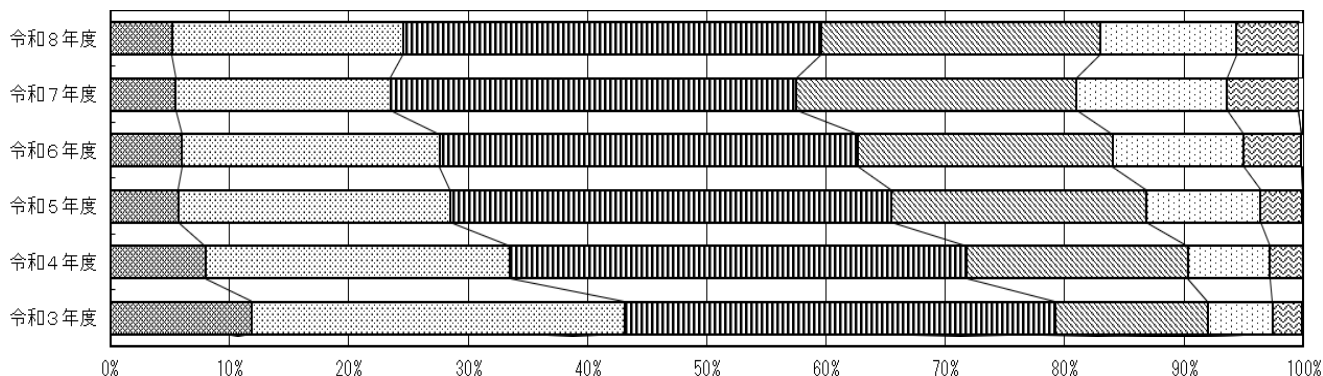
広島県

全国



<経年変化> 2時間以上 24.5%（令和3年度 -18.6pt） 30分未満 16.6%（令和3年度 +8.7pt）

■1.3時間以上 ■2.2時間以上、3時間より少ない ■3.1時間以上、2時間より少ない ■4.30分以上、1時間より少ない ■5.30分より少ない ■6.全くしない □その他 □無回答



休日の勉強時間

児童生徒質問 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校

1時間未満 45.9%（全国比－2.8pt 広島県比－4.8pt）

☐ 1.4時間以上
 ☐ 2.3時間以上、4時間より少ない
 ☐ 3.2時間以上、3時間より少ない
 ☐ 4.1時間以上、2時間より少ない
 ☐ 5.1時間より少ない
 ☐ 6.全くしない
 ☐ その他
 ☐ 無回答



広島県

全国

＜経年変化＞ 2時間以上 20.3%（令和3年度 -13.4pt） 1時間未満 45.9%（令和3年度 +11.1pt）

☐ 1.4時間以上
 ☐ 2.3時間以上、4時間より少ない
 ☐ 3.2時間以上、3時間より少ない
 ☐ 4.1時間以上、2時間より少ない
 ☐ 5.1時間より少ない
 ☐ 6.全くしない
 ☐ その他
 ☐ 無回答



令和7年度

令和6年度

令和5年度

令和4年度

令和3年度

中学校

1時間未満 33.6%（全国比－1.2pt 広島県比－5.8pt）

☐ 1. 4時間以上 ☐ 2. 3時間以上、4時間より少ない ☐ 3. 2時間以上、3時間より少ない ☐ 4. 1時間以上、2時間より少ない ☐ 5. 1時間より少ない ☐ 6. 全くしない ☐ その他 ☐ 無回答



広島県

全国

＜経年変化＞ 2時間以上 32.3%（令和3年度 -25.8pt） 1時間未満 33.6%（令和3年度 +17.3pt）

☐ 1. 4 時間以上
 ☐ 2. 3 時間以上、4 時間より少ない
 ☐ 3. 2 時間以上、3 時間より少ない
 ☐ 4. 1 時間以上、2 時間より少ない
 ☐ 5. 1 時間より少ない
 ☐ 6. 全くしない
 ☐ 7. その他
 ☐ 無回答



令和7年度

令和6年度

令和5年度

令和4年度

合和の午鹿